

第6回 経営協議会 記録

- I 日 時 平成24年 3月28日(水) 13時30分～15時15分
II 場 所 事務局5階特別会議室
III 出席者 高田学長(議長)
石堂, 郷, 茂原, 高橋, 林, 四方, 石川, 平塚, 中島, 野島, 竹内の各委員
陪席者 山田(哲) 監事, 山田(謙) 監事
欠席者 曾我, 福水委員

議事に先立ち、経営協議会の成立要件が満たされていることが確認された後、学長から、前回の議事概要の確認が行われた。

IV 議事概要

1 審議事項

(1) 平成24年度計画(案)について

第二期中期目標・中期計画に基づく平成24年度計画の策定について、資料により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

なお、審議の際、次のような意見交換が行われた。(○は学外委員、△は本学の発言。以下同じ。)

○：平成24年度計画中の「教育に関する目標を達成するための措置」の大学院課程の事項に「成績優秀な学生の顕彰を行うとともに、修了年限を短縮する制度を活用する。」とあるが、この事項の主旨は何か。

△：成績優秀な大学院生が、正規の修業年限前に博士論文が完成し、単位修得していれば課程を修了することが可能とする制度である。

(2) 役員の報酬について

新たに任命及び再任予定の役員の報酬について、資料により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(3) 平成24年度予算配分について

平成24年度における予算配分案について、資料により説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

2 報告事項

(1) ポジティブ・アクション宣言について

女性教員・研究者の拡大に向けて、教育研究評議会において承認されたポジティブ・アクション宣言について、資料により説明があった。

なお、関連して、次のような意見があった。

○：ポジティブ・アクション宣言は是非、積極的に実施していただきたい。なお、教員採用情報についてはネットワークを活用するなど工夫してほしい。

(2) 平成24年度群馬大学入学試験実施状況について

平成24年度群馬大学入学試験実施状況について、資料により報告があった。

(3) 国立大学法人の機能強化等に関する意見交換について

2月24日(金)に文部科学省において実施された国立大学法人の機能強化等に関する意見交換の概要及び本学における機能強化等の取組みについて、資料により報告があった。

なお、関連して、次のような意見交換が行われた。

○：社会が求める人材と大学が養成する人材のミスマッチが懸念されている。

△：今回の大学院改組では社会のニーズに合った人材養成を行うための事業計画を検討中である。

(4) 東日本大震災への本学の対応について

東日本大震災への本学の対応について、資料により報告があった。

(5) その他

① 重粒子線治療状況について

重粒子線治療患者数の推移について、資料により報告があった。

なお、関連して、次のような意見交換が行われた。

△：機器のメンテナンスも必要であるが、施設の稼働のためには、医師や技師の人材養成も急務であり、着実に進めていきたいと考えている。また、海外の患者への対応については治療費の設定や訴訟リスク等を勘案しながら検討していく必要がある。

○：経営の観点から収支状況等の確認が必要である。経営協議会において収支の実績比較を行う必要があるのではないか。また、集患方法のひとつとして市内の宿泊施設や交通機関との連携を行う必要があるのではないか。

△：重粒子線治療前に検査等の医学管理が必要とされる患者で、病床不足により本学附属病院での入院対応ができない場合、関連病院との連携により重粒子線治療を行っている。今後、このような連携病院を拡大していく予定である。

② 給与法の改正について

給与法の改正に伴う本学の対応について、今後協議願いたい旨の発言があった。

③ 今後の会議の開催予定について

4月9日（月）の平成24年度第1回学長選考会議及び6月25日（月）の平成24年度第1回経営協議会の開催が確認された。

④ 退任者について

今年度末で退任する中島理事，山田（哲）監事及び山田（謙）監事からそれぞれ挨拶があった。

以 上